

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2020年3月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第612号

金永吉 (Kim Yong Gil) 氏が描かれた「日用の糧を与えたまえ」という絵がある。「関西セミナーハウス」《修学院きらら山荘》の食堂に飾られており、絵葉書化されている。三人が手を合わせ、食卓の前で祈りをささげている。顔や体は互いに重なり合い、一体化しているように見える。特に顔は円で描かれており、円が三つ重なっている。

キリスト教の伝統から考えれば、この三つの円の重なりは、父なる神、子なるキリスト、そして聖霊であろうか。そしてこれは食事をする人

たちが食前の祈りをささげているのではなく、三位一体の神ご自身が祈っているのであらうか。

食卓の上には五つのパンと二匹の魚が置かれている。イエスが祈りをささげ、分けられたところ、五千人もの人々が養われ、満腹し、さらに多くが余ったという奇跡物語を思い起こす。

「五千人の給食」の物語には出てこないものが、一つ描かれていることに気がつく。高い脚付の食器に果物が載せられている。それは韓国で供

え物を載せる時などに使われる器のように見える。神道で用いる「三方」のようなものである。そして果物はりんごと思われ、キリスト教でりんごといえ、アダムとエバが食べた禁断の木の実を思い起こす。神がこれを食べることを禁じた時、「食べる」と必ず死

## 美術館「きらら山荘」



財団評議員長

横野 朝彦

んでしまう」と言ったことから、死の源であると言える。金永吉氏の作画意図がどこにあったかわからないが、一つ考えられることは、人の罪の結果としての死は、三位一体なる神ご自身の祈りによって、命の糧へと変わっていくということだろうか。この信仰的テーマが食卓と



いう日常のわざとして描かれている。わたしは最初、日毎の食卓での祈りと思っただけ、そのように思える絵の中に、おそらく深い意図が隠されているのだろう。神の救いは、わたしたちの生とかけ離れたところで起こるのではなく、日毎の糧に象徴される日々の

生活の中で神が働きかけているに違いない。金永吉氏は一九四〇年に、中国・吉林省で生まれている。両親が、日本の植民地支配下の朝鮮で、神社参拝を強制さ

れたため、逃れた地での誕生だった。

日本の敗戦による祖国解放後に、生まれた地に帰り、のちに、キリスト教の絵を描くためだけに自身の才能を捧げることに決めたという。

ところで、わたしが「きらら山荘」を訪れる時の楽しみは、茶室や能舞台あたりの散策もさることながら、ロビーや宿泊棟廊下に飾られている多くの美術作品鑑賞である。美術館「きらら山荘」と言ってもよいほどである。

それらの多くは、故竹中正夫氏が収集され、のちに寄贈されたもので、竹中コレクシヨンと呼ばれている。

竹中正夫氏は、日本クリスチャン・アカデミー元理事長で、同志社大学名誉教授、アジア・キリスト教美術協会を設立。またアジアキリスト教協議会や世界教会協議会とかかわり、人や国の垣根を越えた働きをされた。

飾られた美術品は、一つひとつがわたしたちを楽しませ、また観る者に何かを問いかけて訴えているように思える。ぜひご覧いただきたい。

(日本基督教団牧師)

関東活動センター

●2019年度 関東フォーラム今日的課題II 特別企画

「ジャーナリストがその本音を語る」第3回

「川畑泰さんに聞く」

英字新聞記者としての経験から」

講師・元「ジャパン・タイムズ」論説委員長 川畑 泰さん

2020年2月14日(金) 会場 カフェスナック「Via」



「ジャーナリストがその本音を語る」は、今さまざまな意味で曲がり角に来ていると言われるキリスト教ジャーナリズムの世界、その中で長年編集者として活躍してきた人々を招いて、その経験と知見から、現在の日本の社会、またキリスト教界の状況について率直な批判と提言をしてみよう、と2017年に始まった企画。今回でいったん終わることになった。

景を紹介されたもの。第二部は、それらを支える川畑さんの思想の流れを示したものである。

第一部の『辺野古問題』で、『平時の海兵隊の作戦にも使えない施設』と指摘、『歴史家 藤井忠俊氏 アジア太平洋戦争概括』は、『民衆の戦争責任』、『日中戦争が日本の戦争の柱 聖戦、皇軍、大東亜共栄圏はあとづけ』、『日露戦争勝利の総括の問題』、『靖国神社の問題』、『差別のシステムとキリスト教』にまで及び、『日中戦争猪木正道氏』では『国策としての侵略戦争』を、さらに『奥宮正武氏 南京虐殺を目撃』と続いた。

さらに『真珠湾攻撃に関する新発見 井口武夫氏』では、『正式の最後通牒を発見。それがボツになっていた』ことを、そして『高嶋信欽氏 太平洋戦争の始まりは真珠湾攻撃ではない』、最後に『職業軍人でない人々と戦争』では、『慶應大学出身海軍予備中尉 小島清文』、『不戦兵士の会』、『俳人 金子兜太』、『海外向けプロパガンダ誌フロントに参集した人々』、『近藤一兵卒中国戦線から沖繩へ』を

話された。

配布された資料の中で、『ジャパン・タイムズ』1990年11月6日付け3面に掲載された葦津珍彦氏インタビュー、Emperor is said to play role of the Sun Goddess on Earth は川畑さん自身のものと思われる邦文が掲載されていた。

また『ジャパン・タイムズ』について、川畑さんは、『1897年創刊 もともと国策的新聞 戦後 安保改定に賛成 反共親米路線その後変わってきている』とのメモをレジメに残されている。

資料として、1897年3月22日付け同紙創刊号複製を提供されたが、これ自体が興味深いもの。日本郵船会社、麒麟麦酒、三井銀行など現存する会社の広告と並んでZPMARUYA & CO. とあるのは、丸善の前身、丸屋商社だろう。源氏物語、忠臣蔵、大日本書史などを外国人向け図書として紹介している。

第二部は、『天皇制』、『マルクス』、『新約聖書』、『私たちの教会での自主礼拝の経験』の各項。

『天皇制』では『天皇によ

りかからない世俗的生活態度の必要性』、『天皇制とキリスト教の構造は似ているのではないか。キリスト教はどうしたらよいか』を、続く『マルクス』では『経済学批判要綱と未来社会』、『MEGA(マルクス・エンゲルス新全集)の意義』、『安東仁兵衛 マルクスを現代に生かすには』を語られた。

『新約聖書』では『田川建三さんインタビュー キリスト教成立の社会状況 聖書翻訳の問題 正統主義の問題 母語で民衆が読める聖書の歴史的作用 William Tyndale の偉大さ』について。

最後の『私たちの教会での自主礼拝の経験』は『討論・語り合いをもって礼拝とする(フェミニスト神学 マルコ福音書その他の文書』といったキーワードが並んだ。川畑さんの本音を聞いたことは確かだった。(郡山千里)



関西セミナーハウス活動センター

●2019年度「開発教育セミナー」第5回  
『その日暮らし』の経済から考える私たちの社会  
『香港の地下経済と日本の未来』

立命館大学大学院先端  
総合学術研究科教員 小川 さやかさん  
2019年12月14日(土)〜15日(日)



タンザニアでは都市経済のインフォーマル化が進んでいる。その大部分を占める路上商人たちは、不安定な社会的立場のなかで、時に助け、時に騙し、負い目なしの関係性を築きながら、その日その日を切り抜けている。誰も信用できないが、誰かが助けてくれるかもしれない。「不確実だからこそ、その可能性に賭ける」タンザニアの商人たちの生き方には、絶対的な信用が尊ばれる日本とは全く異なる価値観がある。



タンザニアでは都市経済のインフォーマル化が進んでいる。その大部分を占める路上商人たちは、不安定な社会的立場のなかで、時に助け、時に騙し、負い目なしの関係性を築きながら、その日その日を切り抜けている。誰も信用できないが、誰かが助けてくれるかもしれない。「不確実だからこそ、その可能性に賭ける」タンザニアの商人たちの生き方には、絶対的な信用が尊ばれる日本とは全く異なる価値観がある。



今回のテーマは、関西活動センターには珍しく深刻なものでなかった。この種のテーマに慣れていない司会者は、会をどう運んだらいいか心配していたが、講師の優しい語りかけが聞く者の心をほぐし、なごやかな話し合いへと導いた。

●2019年度 修学院フォーラム「いのち」第3回  
NHK「ためしてガッテン」や「きょうの健康」  
に出演した、禁煙外来の創始者が語る  
『禁煙とキモノのナットクな話』  
京都大学医学部大学院特任教授、  
京都大学附属病院禁煙外来担当医師 高橋 裕子さん  
2020年1月25日(土)

でき、新たな可能性に賭けてみることができる。確実に依存する社会は、可能性に賭けてみる人間の生命力を押し、息苦しい世界を作るとい

もう少し緩やかな社会の在り方への希望が議論を盛り上げた。講師から生き生きと語られる現地の人々の生き様から、大きな刺激と、前向きな視点を得ることができた。

講師の高橋裕子さんは、もともと内視鏡で胃がんなどを切除する先端医療専門の内科

依存症による。ニコチン依存症は、無理してたばこを止めなくても、適当な薬をしばらく吞めば治り、たばこを欲しくなくなり、生活が快適になり、本人も、周囲の人もうれしくなる。

高橋さんは、ある朝大学構内を歩いていると、突然「あなたを60年間育ててきたのは私である。私はあなたを医者にして今の立場を与えた。私はあなたを私の計画に用いる。だから従いなさい」という声を聞いた。それから神様に聴くようになると、生かされていくことに気づかされ、謙虚にされ、感謝する者とされた。

**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

■**2020年度宗教対話 I**

教会と音楽 讃美歌を中心として第1回「壁を崩した賛美歌 ベルリンの壁崩壊30年の年に」(全6回)

講師：小海 基さん(日本基督教団荻窪教会牧師・元教団讃美歌委員)

日時：5月7日(木)14:00~16:00  
会場：AVACOビル2階チャペル  
参加費：1,000円

■**2020年度聖書を読む講座**

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」(第3期)(全10回)  
講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：①4月21日、②5月12日  
火曜18:30~20:00  
会場：早稲田奉仕園スコットホール222  
参加費：1,200円/学生500円  
共催：早稲田奉仕園

■**2020年度聖書を読む講座**

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう—この時代の中で、聖書からのメッセージを読み解く—」

第2期「創世記(原初史)から読み解く現代~神、自然、人間をキーワードに」

講師：上林 順一郎さん  
日時：①5月27日、②6月24日  
水曜 14:00~16:00(全6回)  
会場：早稲田奉仕園セミナーハウス101号室

参加費：1,000円/学生500円

共催：早稲田奉仕園

■**2020年度 研究会**

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>  
関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>  
関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>  
関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

**公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー**  
代表理事 中村 信博

本部事務局  
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
TEL 075-711-2147  
FAX 075-701-5256

関東活動センター  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館1F  
TEL 03-3207-6198  
E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/  
関西セミナーハウス活動センター  
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス  
TEL 075-711-2115  
E-mail: info@kansai-seminarhouse.com  
関西セミナーハウス活動センター  
TEL 075-711-2117  
E-mail: office@academy-kansai.org

「さらに豊かな礼拝のために~ことばを届けるトレーニング」(全10回)

講師：友野 富美子さん(日本キリスト教団吉祥寺教会担任教師)

日時：①5月19日、②6月16日  
火曜 18:00~20:00

会場：日本基督教団巣鴨ときわ教会  
参加費：1回1,200円

◆**関西セミナーハウス**

■**月会「清心会」**

日時：5月10日(4月は休会)  
日曜 9:00~15:00 受付  
於：関西セミナーハウス  
年会費：4,000円、臨時会費1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2020年度お茶のこころと宗教のこころ**  
「D. ボンヘッファー(1906~1945)の遺稿『倫理』を新版で読む」

講師：山崎 和明(四国学院大学名誉教授)

日時：2020年4月~2021年3月(全12回)

①~⑩水曜18:30~20:30  
⑪1泊2日予定  
⑫4月22日、⑬5月20日

会場：関西セミナーハウス  
参加費：1,500円(抹茶と和菓子付き)

①~⑩回数券15,000円、  
⑪は別途

■**2020年度修学院フォーラム「いのち」**

第1回「すべての命を大切に NPO法人こうのりのゆりかご in 関西の理念と現状」

講師：人見 滋樹さん(NPO法人こうのりのゆりかご in 関西 理事長、京都大学名誉教授、日本胸部外科学会名誉会長)

日時：5月16日(土)13:30~17:30  
会場：関西セミナーハウス  
参加費：2,300円 学生1,000円(コーヒー付)

**賛助会費・寄付金報告**

2010年1月1日~2月29日(順不同・敬称略)

◆**財団本部**  
寄付金

棟方 信彦 4,640

◆**関東活動センター**

賛助会費

戒能 信生 10,000  
立石 昭三 3,000  
坂下 道朗 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

藤 知佳 5,000  
日本キリスト教団市川三本松教会 2,000  
日本キリスト教団経堂緑丘教会 10,000  
日本基督教団浦安教会 5,000  
日本基督教団原宿教会 10,000  
日本基督教団ひばりが丘教会 3,000  
坂 敬夫 1,500  
鹿児島加治屋町教会 10,000  
曾根 由利子 1,000  
日本基督教団洛南教会 3,000

神学生プログラム寄付金

戒能 信生 10,000  
日本基督教団千代田教会 10,000  
日本キリスト教団須賀川教会 5,000  
加藤 真規子 3,000  
農村伝道神学校 30,000  
関田 寛雄 5,000  
日本聖書神学校 30,000  
西川 優子 5,000  
神保 信子 20,000  
古賀 暢子 5,000  
日本ナザレン神学校 10,000  
日本聖書神学校学生自治会 5,000  
学校法人 西南学院 50,000  
同志社大学神学部 50,000  
古賀 博 5,000  
松下 起子 1,000

岡田 春美 3,000

日本キリスト教団早稲田教会 10,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

THE AIRS 菅原 直人 10,000  
森口 克洋 10,000  
山崎 和明 30,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

西岡 裕芳 5,000  
宇井 裕美 5,000  
日本基督教団西が丘教会 10,000  
合同会社 AgroKraft 10,000  
今川 泰彦 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

在日大韓基督教京都教会 10,000  
藤田 恭子 5,000  
延原 正海・千恵香 5,000  
日本基督教団西が丘教会 20,000  
山本 茂 6,000  
井上 明 2,000  
南 和子 10,000  
桃山アシラム 8,000  
日本基督教団天満教会 10,000  
西川 武 10,000  
柳井 一朗 2,000  
日本基督教団世光教会 10,000  
鳥井 清司 5,000  
柳井 一朗 3,000  
日本基督教団平安教会 5,000  
匿名 1,000,000  
山本 良昭 30,000  
松平 千鶴子 1,000  
山崎 和明 1,520  
京都キリスト教協議会 20,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。